

神奈川県看護協会 災害救護対策委員会

かんご 防災力 GO!!

今回のテーマ 災害時の看護協会間の支援体制について

災害は突然やってくる...

今回は、被災地・柏崎で行った支援活動での事例を通して、災害時の看護協会間の支援体制を紹介します。

新潟県中越沖地震の支援活動で、被災者の健康調査のための戸別訪問活動を行いました。その活動の中で被災した看護師さんと話す機会がありました。



この看護師さんが勤務している病院は、被災者の受け入れをしていました。しかし、そこで働く看護職自身もみな被災者であり看護職のマンパワー不足がありました。「でも、自分たちが頑張るしかないです」と話していました。

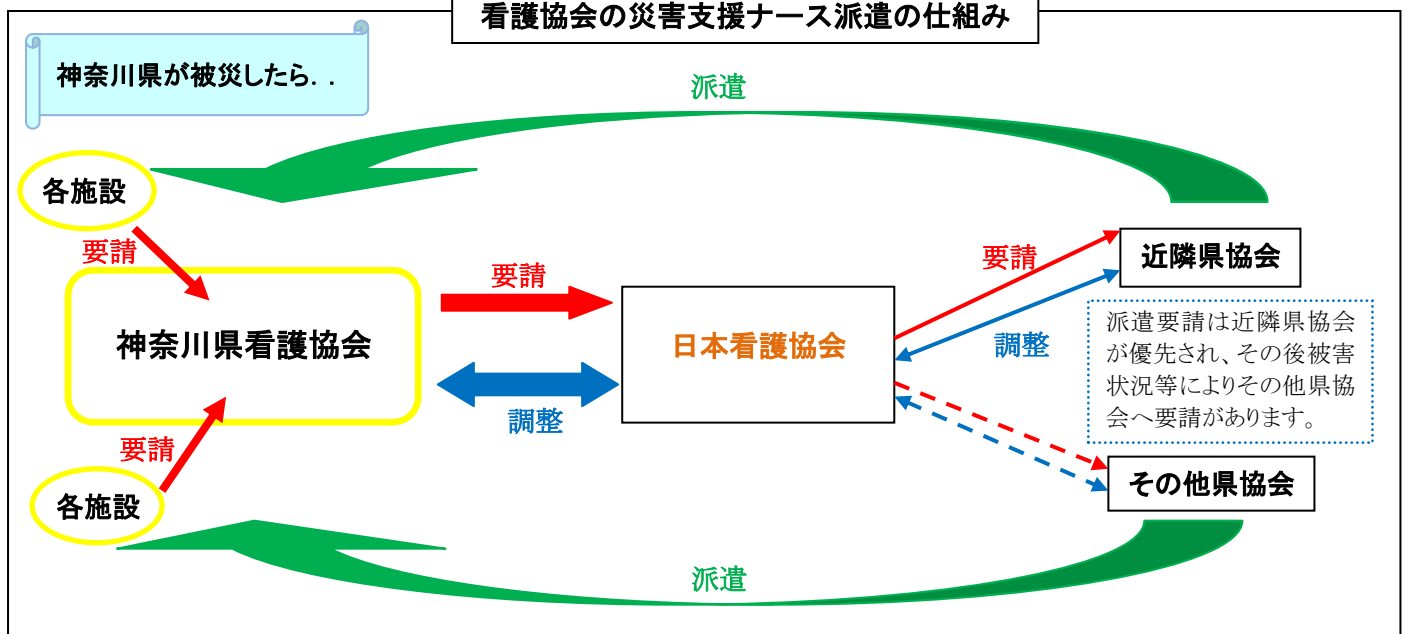
そこで、被災地看護協会から日本看護協会へ災害支援ナースの派遣を要請できる仕組みがあることを話しました。

すると、その看護師さんは「早速 看護師長に相談してみます。希望がもてました。」と話されました。

被災地で働く看護職は、自身が被災者であると同時に地域住民の支援者でもあるため、頑張りすぎてしまいます。

被災者への支援と共に、このような被災県看護職の心身の負担を軽減し支えるため、各都道府県看護協会は、日本看護協会と連携した災害時支援ネットワークを整備しております。ぜひ、ご活用ください。

看護協会の災害支援ナース派遣の仕組み



裏面の用紙を利用して、ご意見等をお寄せください